

海の深くを 探る。

2017.11.4

土曜日

会場

アクアマリンふくしま

主催

自然史学会連合・アクアマリンふくしま

海の深々探る。

講演会

自然史学会連合では、ひろく自然史学の普及を目的とした講演会を毎年開催しております。初めて水族館で開催する今回の講演会では、海をテーマに、いわき市で見つかったフタバズキリュウ、生きた化石のシーラカンス、不思議な生き物テヅルモヅル、そして水の中のDNAに関する最新の研究成果を分かりやすく紹介します。

1

ザ・シーラカンス
—アクアマリンふくしまの調査—
岩田雅光（ふくしま海洋科学館）



2

恐竜時代の海の中
～フタバズキリュウの世界
佐藤たまき（東京学芸大学）



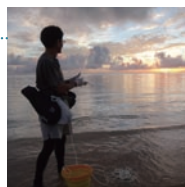
3

謎の深海生物
テヅルモヅルを分類する
—現在になってわかること—
岡西政典（茨城大学理学部）



4

パケツ一杯の水で
棲んでいる魚がわかる技術
：環境DNAメタバーコーディング
宮 正樹（千葉県立中央博物館）



会場 アクアマリンふくしま [マリンシアター] **対象** どなたでも参加できます
時間 13:00～16:00 **参加費** 無料（ただし、アクアマリンふくしまの入館料が必要です）

体験教室

自然史学会連合に加盟している学協会が、それぞれの専門分野をテーマとした工作やワークショップを出版します。

出版学協会とテーマ



●日本魚類学会
「本物の深海魚を手にとって、観察してみよう。」

●日本菌学会
「身近で不思議な菌の仲間たち！」

●日本サンゴ礁学会
「サンゴ礁がやってきた!!」

●日本藻類学会
「海藻グッズをつくろう」



●日本第四紀学会
「身近な物から絵の具をつくろう—第四紀学の見かたで石や砂を考える—」

●日本DNA多型学会
「DNA多型（様々な生物のDNA塩基配列の違い）」

●日本動物学会
「発光生物を観察しよう」

●日本動物園水族館教育研究会
「うんちで学ぶ動物のくらし」

会場 アクアマリンふくしま 館内 **対象** どなたでも参加できます（事前申し込み不要、途中参加・入退出自由）
時間 10:00～17:00 **参加費** 無料（ただし、アクアマリンふくしまの入館料が必要です）

「自然史」とは？

地球上のありとあらゆる自然現象を扱う学問です。森羅万象の科学と言い換えてもいいかもしれません。あらゆる生き物、化石、岩石、地質など、私たちにとって身近な自然物と、私たちを取り巻く環境すべてが研究対象です。



環境水族館

アクアマリンふくしま

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町50

Tel: 0246-73-2525 Fax: 0246-73-2526

Mail: amf@aquamarine.or.jp

Web: <http://www.aquamarine.or.jp/>

利用案内

- 入館料……一般：1,800円 ※障害者手帳をご提示の方は、入館料が全額免除となります。小～高校生：900円 未就学児：無料
- 開館時間……通常期（3月21日～11月30日）：9:00～17:30
冬期（12月1日～3月20日）：9:00～17:00
※入館は、閉館時刻の1時間前までです。
- 休館日……年中無休

交通アクセス

- 電車利用の場合
JR常磐線「泉駅」下車、南口から路線バス「小名浜・江名」行きで約15分、「支所入口」下車、徒歩約10分。
- 車利用の場合
仙台・郡山方面から：常磐自動車道「いわき湯本IC」から約20分
東京・水戸方面から：常磐自動車道「いわき勿来IC」から約30分
駐車場：500台（無料）



自然史学会連合 (<http://ujsnh.org>) は、国内40の学協会からなる研究者の組織です。講演と体験教室を通じて自然史研究の面白さをお伝えします。

自然史学会連合加盟学協会：種生物学会、植生学会、植物地理・分類学会、地衣類研究会、地学団体研究会、東京地学協会、日本遺伝学会、日本衛生動物学会、日本貝類学会、日本花粉学会、日本魚類学会、日本菌学会、日本蜘蛛学会、日本古生物学会、日本昆虫学会、日本昆虫分類学会、日本サンゴ礁学会、日本植生学会、日本植物学会、日本植物分類学会、日本進化学会、日本人類学会、日本生態学会、日本生物地理学会、日本蕨類学会、日本藻類学会、日本第四紀学会、日本地衣学会、日本地質学会、日本鳥学会、日本地理学会、日本動物学会、日本動物行動学会、日本動物分類学会、日本プランクトン学会、日本ベントス学会、日本哺乳類学会、日本陸水学会、日本鱗翅学会、日本霊長類学会